



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行う**ため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。
今回は、「日本原子力学会シンポジウム」開催のお知らせです。

**日本原子力学会シンポジウム開催のご案内
東電福島第一原子力発電所廃炉への取り組み～過去・現在・未来～**

日本原子力学会は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故後、事故原因の究明、周辺環境の回復に向けた支援等様々な活動を行ってきました。本年の3月に事故後5年を迎えることを踏まえ、これまでの当学会の取り組みを振り返ると共に、今後長期に亘る困難な作業が予想されている事故炉の廃炉に関し、社会の関心の高い事項を中心に、現状と課題を学会の視点から広く一般に情報発信をいたします。併せて、今後の事故炉の廃炉について、一般の方と一緒に考える機会となることを期待します。

日 時:2016年3月6日(日) 13:30～17:30 (開場:13:00)

場 所:フクラシア東京ステーション H会議室 (約250人収容、東京駅日本橋口より徒歩1分)

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル5階 <https://www.fukuracia-tokyo.jp/access/>

主 催:日本原子力学会

参加費:無料

プログラム:全体進行

浅沼徳子(廃炉委^(注)幹事、東海大学)

開会挨拶

上塚 寛(日本原子力学会会長、日本原子力研究開発機構)

第1部「福島第一原子力発電所事故後の取り組み」

講演1:事故後の日本原子力学会の取り組み

田中隆則(日本原子力学会副会長、エネルギー総合工学研究所)

講演2:学会事故調の提言への取り組み状況

山本章夫(廃炉委分科会主査、名古屋大学)

第2部「福島第一原子力発電所廃炉の現在と未来」

講演3:事故炉の廃炉の現状と課題

宮野 廣(廃炉委委員長、法政大学)

講演4:福島第一原子力発電所事故廃棄物を考えるー現状と課題ー

柳原 敏(廃炉委委員、福井大学)

講演5:建屋の長期健全性を評価する

瀧口克己(廃炉委分科会主査、東京工業大学名誉教授)

講演6:廃炉を着実に実施するためのリスク管理を考える

山口 彰(廃炉委分科会主査、東京大学)

第3部「質疑応答」

座長:関村直人(廃炉委副委員長、東京大学)

閉会挨拶

上坂 充(日本原子力学会副会長、東京大学)

(注)廃炉委は、日本原子力学会福島第一原子力発電所廃炉検討委員会の略称

本シンポジウムの取材申し込みについて

3月2日(水)までに <http://www.aesj.net/symp20160306> または Fax03-3581-6128 にてお申し込みください。

なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局 TEL : 03-3508-1261 / E-mail : kikaku@aesj.or.jp